



春色に染まる山里

うたごよみ 卯月

【短歌】

渡辺幸士 選

菜の花のそばにテントの花咲かせ至福の時

を過ごす人々

緒方 明美

春雪に隣家の庭の紅梅も今日はいつすら雪

化粧する

池田キヨ子

庭先に花の咲きだし賑やかに彩り競い心和

ます

赤星 文子

矢の如く過ぎ行く日々に向うごと今を盛り

と庭の梅咲く

吉永由紀子

久し振り孫居る方に手を出して反対向かれ

祖母の役なし

上村やす美

苔むした老木に咲く梅の花吾も老木凛と生

きたし

塚原 暁益

山間の寒さに耐えて山桜素朴に咲いた花は

愛しき

白梅 武人

雪舞う日枯葉の積もる狭庭には春咲く花の

発芽見えたり

内田乃武子

新春の空晴れ渡り老いひとり日溜りに居て

することもなし

渡辺 幸士

【川柳】

渡辺幸士 選

【卒業】

卒業後逢えばつまらぬ人でした 清川みどり

卒業でちぎれた恋の青レモン 川村 文子

【うきうき】

うきうきと孫の結婚待っている 日隈 俊郎

うきうきと投句の結果待っている 渡辺 幸士

【肥後狂句】

北川直美 選

酒好きが 水筒にまじ入れとらす 広田みどり

酒好きが 家と妻まで飲み込もうだ 下山 千恵

酒好きが 商売物に手エ出して 志垣 光

酒好きが 家族の食事削つとる 佐藤 葵

酒好きが コロナ騒ぎで一人酒 平井やよい

酒好きが 法事戻りイ寄る酒屋 長原 産賀

酒好きが 素面の時ア仏様 佐野 京

酒好きが 簾立てても長居する 光永 六

酒好きが 聞き酒だけじゃ物足りん 井元あざみ

酒好きが つまみ作りも上手くなり 日高 美里

酒好きが 晩酌だけじゃものたりん 上田 梅清

酒好きが かくし芸でもお手のもん 中村 幸信

酒好きが 下戸じゃ話にならんちゅう 北川 直美

お問い合わせ先 町教育委員会公民館事務局  
096・234・2447 (内線321)

# ひとの動き (敬称略)

2月11日(木)～3月10日(水)

**birth** お誕生おめでとう

住所	氏名	性別	保護者
白旗	渡邊 波稀	男	和 樹
吉田	江島 叶泰	男	淳 平
岩下	川村 理桜	男	翼
上揚	池上 結香	女	直 樹
有安	舩田 裕真	男	裕 次
豊内	古閑 響	男	光

**marriage** ご結婚おめでとう

住所	氏名
夫	田口 舩永 潤
妻	熊本市 大弓 肖

**condolence** お悔やみ申し上げます

住所	氏名	年齢	世帯主
芝原	河野 澄子	91	史 郎
西寒野	佐藤 トリエ	88	トリエ
横田	田添 信明	79	鈴 子
中横田	田上 一郎	90	ミスエ
早川	西口 スミ	99	ス ミ
東寒野	古閑 ハルエ	99	ハルエ
糸田	奥名 文子	83	雄 吉
麻生原	久米 フミ子	90	フミ子
大町	伊豆野 ヤエ	102	ヤ エ
船津	稲葉 ツヨ子	87	ツヨ子

**data** 甲佐町の人口・世帯数

項目	数	増減
男	4,992	5
女	5,427	▲10
計	10,419	▲5
世帯数	4,352	▲2

令和3年2月28日現在

## こうさの野菜で作ってみよう!

レシピ提供：料理研究家 沼田峰子さん(北原区)



### かるかんまんじゅう

#### ご存じですか？

和え物などでシャリシャリした食感を、揚げ物などでホクホクとした食感を楽しめる長イモがインフルエンザ予防に効果があるってご存知ですか？

長イモに含まれる「ディオスコリンA」というタンパク質は、数種類のインフルエンザウイルスの外殻に作用して、感染を阻害することが報告されています。

今年は新型コロナ対策としてマスクの着用や手指消毒の徹底にともない、インフルエンザの流行も大幅に減少していますが、美味しい食事で健康管理ができるのは素晴らしいですね。

この春、手軽に作れるおやつとして、長イモを使ったかるかん作りに挑戦してみませんか。



#### 作り方

- ①長イモの皮をむき、仕上がりをきれいにするために、2～3分ほど酢水に浸けましょう
  - ②水気を拭きとったら、円を描くように回しながらすりおろします。
  - ③すりおろした長イモに砂糖を加え、よく混ぜ込みましょう。
  - ④③に水を混ぜ合わせたものに、上新粉を加えてダマにならないようよく混ぜます。
  - ⑤できた生地を紙カップに等分に流し込み、丸めたあんこを1個ずつ入れて、蒸し器で蒸し上げます。15分程度蒸して火が通っていれば完成です。
- ※すりつぶしたヨモギを加えることで、春らしいうぐいす色の「かるかん」もできますよ。

#### 材 料 (8個分)

長イモ	100g
砂糖	80～90g
水	1/3カップ
上新粉	100g
市販のあんこ	約160g
紙カップ(8号)	8個

## 編集後記

今春、熊本のソメイヨシノの開花の知らせが届いたのは、昨年より6日早い3月17日。3月23日に行われた町内小学校の卒業式では、生徒たちの門出を校庭の桜たちが祝ってくれたのではないのでしょうか。

今月号の表紙では、そんな小学生の多くが通うことになる学び舎を、一足早く巣立った甲佐中生徒の飾らない笑顔をご紹介しています。昨秋の体育大会で出会った時よりも大きく成長した彼らの未来が楽しみです。

卒業式の永瀬校長のあいさつに「将来遠くからでも、皆さんを守り育ててくれた甲佐町に感謝し、温かいふるさとへの愛情を今度は皆さんが注いでください」という言葉がありました。彼らが胸を張ってそう思えるまちづくりを進めることが、私たち大人の務めなのだと感じた母校の卒業式でした。

(と)